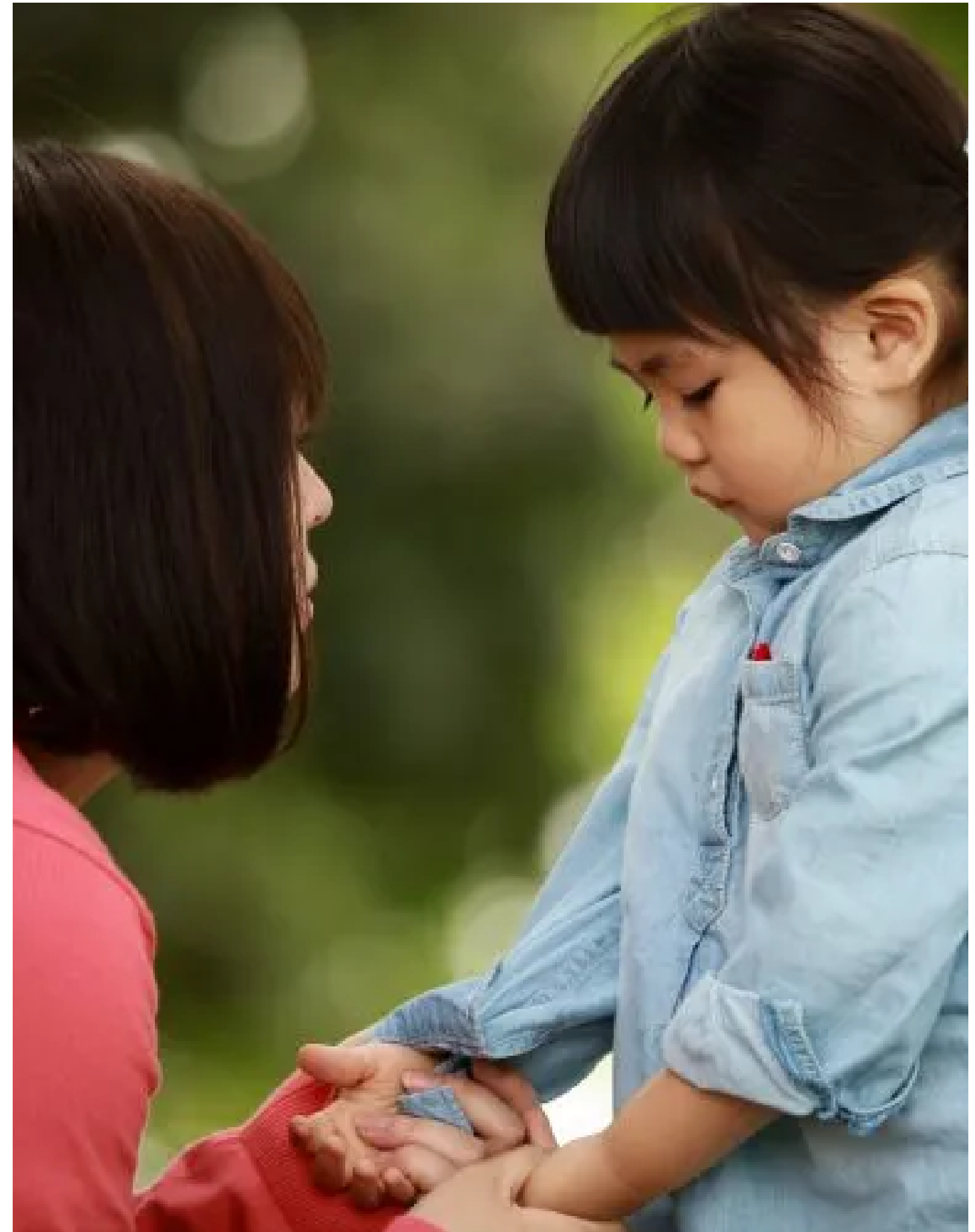


Power to children's hearts

褒め方と叱り方

褒め方と叱り方が
子どもの将来に与える影響とは？

ジョイフルサッカークラブ 指導員研修⑮



01. 振り返り・考察
02. 研修の目的
03. 褒め方の方法には4種類
04. NGな叱り方とやるべき叱り方
05. 研究から見る褒め方・叱り方が
子どもの将来に与える影響とは



【PISA調査】

読解力が3位浮上

PISA調査2022 結果

	2018	2022
・ 数学的リテラシー	1位	1位
・ 科学リテラシー	2位	1位
・ 読解力リテラシー	11位	2位

読解力は向上したと言えるのか・・・??



研修の目的



商品は自分自身

我々のサービスは属人的。コトを売っている。
人だからこそその価値を提供できるよう。



心を焦点に

サッカーは教材。目的は教育。心を焦点にあてた
指導を行う。と同時に我々の心の向きも上向きに。

褒め方の方法には4種類

1. 簡単に褒める

「凄いね」「うまい」「上手」
「さすがだね」といった褒め方。

2. 表面や才能を褒める

「足が速いね」「かっこいいね」
といった褒め方

3. 結果を褒める

「優勝したね」「良い点数が取れたね」
「1番だったね」といった褒め方

4. 過程を褒める

「あきらめないで最後まで○○」「毎日
ボール触ってたもんね」といった褒め方

褒め方の方法には4種類

過程を褒める上で 3つのポイント

他の3つがダメな褒め方ではありませんが、過程を褒めることが、様々な研究から子どもに与える影響が大きいことが証明されています（後述）

努力を見つける



例えば、

- ・たくさん触ろうとボールに向かっていて
- ・ミスを誰かのせいにしない事を意識していた
- ・逆足で蹴れるようになる為に頑張ったもんね

関心を持つ

具体的に



例えば、

- ・ボールの近くに常にいて誰よりも汗を・・・
- ・プラスの声かけをしていた
- ・持ち替えずにスムーズに逆足が出てたね

質問するのもアリ

第三者にも



- ・帰りの会
- ・保護者

停滞型マインドセット

- 人間の能力は生まれつき
- 努力しても意味がない
- 変化に慎重
- 困難を避ける
- 他責にする
- 想定外の出来事を嫌う
- 批判＝自分を否定されたと感じる
- 自分の意見が正しい

成長型マインドセット

- 人間の能力は努力次第
- 学ぶことに貪欲
- 変化を受け入れる
- 困難から学べる
- 自責で考える
- 想定外にも臨機応変に対応する
- 批判を受け止め、気づきを得る
- 他人の意見を沢山聞きたい

例えば「頭がいい」と褒めるとそれは「成功するのは頭がいいから」「失敗するのは頭が悪いから」という誤ったメッセージを子供に伝え、失敗回避の行動の原因になってしまう。

停滞型マインドセット

「今」の姿を見るか

目の前の「短期的な承認・報酬」ではなく、「長期的な報酬」を与えるような思考が大事。

これは、ドゥエック博士の研究は勿論、日本の実証研究の論文にも記載されています（後述）

※うまくいかなかった、失敗した時は【まだ】という言葉がポイント。「今はまだできないけど・・・」

また、過程を褒めたうえで次は〇〇にチャレンジしてみようか？という課題設定をしてあげるのも〇

成長型マインドセット

「成長した」姿を見るか

「叱る」と「怒る」の違い

1. 「叱る」は良い方向に導く、「怒る」は感情を発散させるため

叱るとは、教育的な目的があり、相手を良い方向に導くために行われます。それに比べて、怒るのは、自分の思い通りにならないことに腹を立てて、その感情を発散させるために行われるもの

2. 「叱っている」ときは冷静、「怒っている」ときは感情的

叱るときは冷静な状態ですが、怒るときは感情的。



3. 「叱る」は相手が中心、「怒る」は自分が中心

叱ることは相手を中心に考えています。ですが怒るのは自分を中心に考えています



4. 「叱る」は愛情が土台、「怒る」は怒りの感情が土台

叱ることは相手を危険から守りたい、良い方向に導きたいという愛情が土台。怒るのは、自分の怒りの感情が土台。

NGな叱り方とやるべき叱り方

■直後に叱らないのはNG

指導は瞬間。後出し禁止。

■体罰はNG

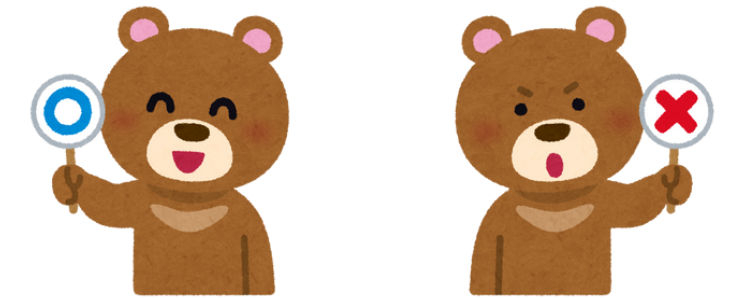
そりゃあね・・・👊

■感情的はNG

子どもの話も聞く。実は違った、違う理由だったということはよくある。冷静さは必要。つまり感情的はNG 肯定するところから

■くどくど叱るのはNG

結局何が言いたいのか？とか違う話を引き合いに出してしまう事もある。伝わらない



■誰かと比較して叱るのはNG

相対評価は×。するのはいつでも絶対評価。(クラブに入部してから)

■人格否定・突き放しはNG

頭悪いな。下手くそだな。使えない。もう知らない、勝手にしろ。

- ①行動 子どもの行動客観的に描写する
- ②感情 正直にどう感じたかを伝える。
- ③影響 なぜその行動に問題があるのか、人に与える影響を例に説明する。
- ④提案 次はどうしたらできるか、解決策を話し合う。

■叱る理由をきちんと説明する

何故それがよくなかったのか？を伝える。 逆に聞いてもよい 自分の取った行動が自分自身、他者に影響を与えるというモラルに焦点

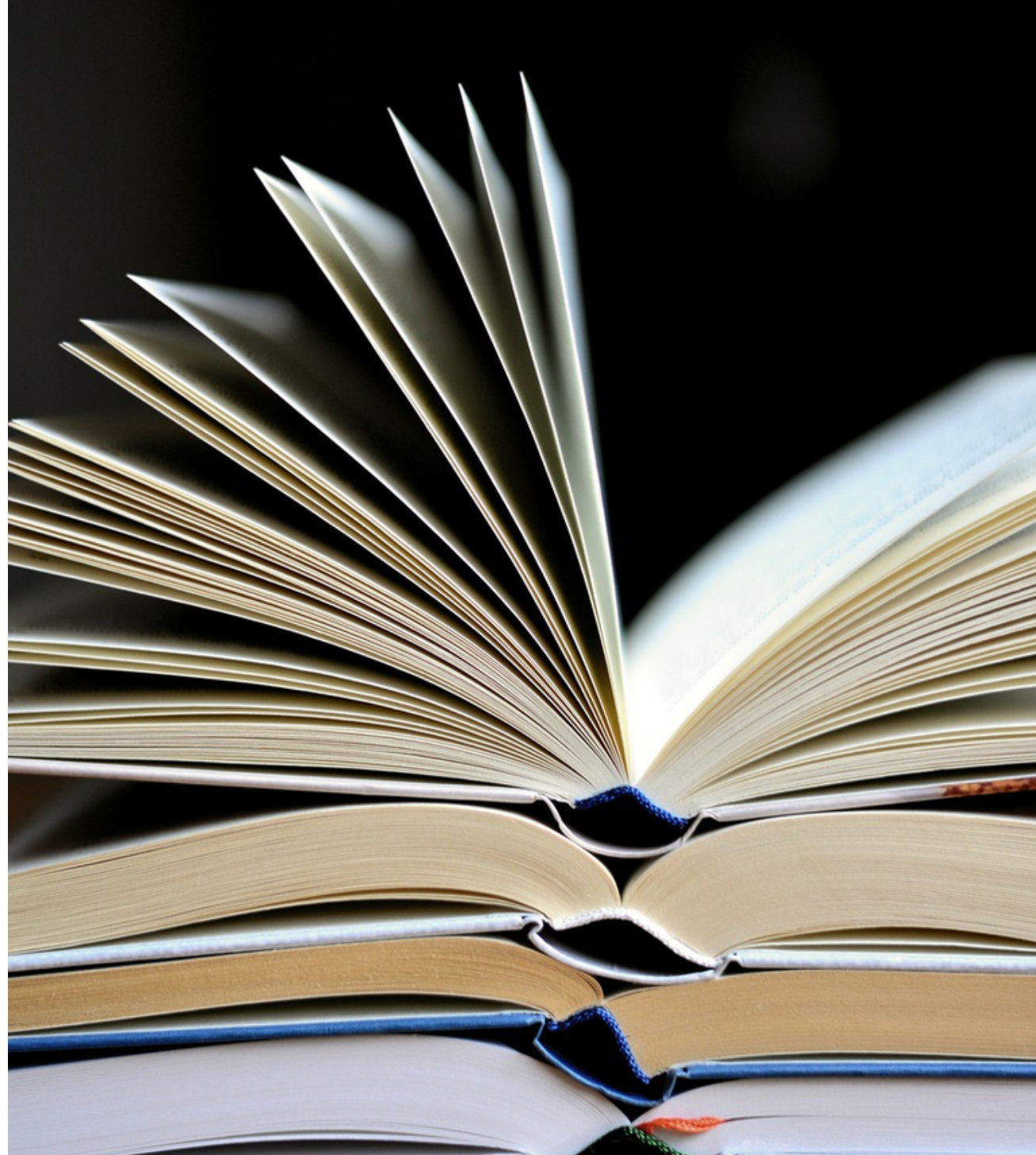
■過程や努力に目を向ける

〇〇は出来ているから次はこうしていこう。

■こちらの気持ちを伝える

わたしメッセージ その方が先生は嬉しい。

研究から見る褒め方・叱り方が子どもの将来に与える影響とは



【論文情報】

タイトル

褒め方、叱り方が子どもの将来に与える影響－日本における実証研究

[↑↑論文はこちら](#)

著者

西村和雄、八木匡

掲載

RIETI DP 22-J-037, 独立行政法人経済産業研究所, 2022年10月